

一般質問

議員 電子入札制度について伺います。

副村長 電子入札制度につきましては、競争参加資格を有するものがインターネット上で入札情報を入力して入札手続きを履行することができるというところで、事務負担の軽減となり、利便性の向上が図られるというところでございます。メリットとしましては、手続きの透明性の確保、品質、競争性の向上、コスト削減などの効果が期待されるところであります。導入に当たりましては、茨城県が運用しております茨城電子入札共同利用システム、こちらを利用する方法で実施したいと考えております。ICカードの受け付けということですが、まず参加したい業者が電子認証局という第三者の機関でICカードをまず取得する必要があると思います。それを取得した後に、さらに本村の入札システムに参加するための利用者届というところで、二段階の手続きが必要になります。その期間につきましてはまだ未定ですが、十分な期間を設けたいと考えてお

ります。指名競争、一般競争すべて順次拡大していく予定ではおりますが、総合評価方式につきましては、現在のところ一般競争入札において、しかも試行ということ、やっておりますので、同時にというのはなかなか難しいと思っておりますが、対応は考えてまいりたいと思っております。パソコンが壊れたときの対応ですが、要綱の制定とともに運用基準の中でそういう不測の事態が生じた場合に電子入札から紙入札に切りかえるというふうなことにしても規定していきたいというふうにも考えております。

議員 建設業法に該当しない営業所があると聞きましたが、調査すべきであると思えます。そして、村内業者に対するアンケートを取り対応し、業者の育成に努めていただきたいと思います。村内の業者のボランティア活動や災害のときなど役割は非常に大きいものがあるからであります。



電子入札制度について

光風会 村上 孝 議員



応急手当てのビデオを視聴



人工呼吸で大きく息を吹き込みました

議員会で 普通救命講習を 受講しました



4月26日、東海村消防署研修室において、東海村議会議員会（会長・村上邦男）が普通救命講習を受講しました。消防署長のあいさつの後、救急車が到着するまでの応急手当やAEDの解説ビデオを視聴しました。続いて、署員による実演講習では、二人一組で救助する側、される側となり、呼吸の確認方法を行いました。人形を相手にした人工呼吸では、鼻をつまんであごを上げ気道を確保させ、空気の入り具合を確認しながら、人口呼吸法を実施しました。さらに、救急車の到着までの実態に合わせた心臓マッサージを実施し、参加者は、こちよい汗を流した一日でした。